

福利厚生の一環で、大半のゴルフ場が終業後のコース開放や社内コンペを定期開催している。しかし近年「従業員がゴルフをしない」といった悩みが多くのゴルフ場から聞こえてくる。制度やイベントを用意するだけでなく、どうすれば従業員のプレー機会を増やすことができるのか、改めて考えてみたい。

は大切です。懇親コンペは、メンバーと従業員が60~70名ずつ参加する和気あいあいとしたもので、コンペ出場を目指しゴルフを始める従業員もいます。

石井晃支配人がこう語るように、プレー中には様々な「気づき」があるというのは、営業グループの林郁夫氏だ。

「まことにコースに出ていると、花木の開花など、コース内のちょっとした変化を感じられるようになってしまいます。そうした変化はメンバーの方々も感じているようで、コミュニケーション



ケーションのきっかけなど関係性を深めることにも繋がっています」

初心者が参加やすい 社内コンペに

初心者でも参加しやすいようにチームスクランブル方式の社員コンペが開かれています

従業員に 「もっとゴルフを！」

業界活性化ゴルフ“内部”から



「社内に、どことなく『自分のゴルフ場でプレーしてはいけない』という雰囲気があったようです」
と語るのは、鹿沼72カントリークラブ（栃木県・45H・M）の小島正樹支配人。今年5月にグループの鹿沼カントリー倶楽部（45H・M）から赴任した際にプレーを呼びかけたところ、従業員からは「いいんですか？」などといつた戸惑いの声があがつたという。

そこで、朝礼などで定期的にゴルフプレーを呼びかけるとともに、約2ヵ月前から従業員のプレーフィーを引き下げるにした。通常営業日は3062円から1982円に、セルフ営業日（ドリンクバー付き）は3256円から2176円として、グループゴルフ場の従業員にも適用したという。

特にプレーを制限していたわけではなくたたよですが……。休場日が少くなり、出勤している仲間に負担をかけまいという想いもあったのかもしれません」（小島支配人）

そこで、朝礼などで定期的にゴルフプレーを呼びかけるとともに、約2ヵ月前から従業員のプレーフィーを引き下げるにした。通常営業日は3062円から1982円に、セルフ営業日（ドリンクバー付き）は3256円から2176円として、グループゴルフ場の従業員にも適用したという。

「同じコースでも、プレーをしながらお客様目線で見ると、マーシャルで見るととでは、まったく見え方が違います。お客様に楽しく快適にプレーしても、

カート道に凹や亀裂がないか、歩径などで滑りやすい個所はないかなど、われわれもプレーすることが大事

ミーティング時などに繰返しプレーを呼びかけることが大切



ですと繰返し伝えています」

と、小島支配人。

まだ始めたばかりだが、少しづつプレーをする従業員が増えってきたとい

う。「地域がより活性化するように、多くのゴルフ場スタッフとの交流も必要だと考えています。そこで、グループ以外の従業員プレーも通常営業日が3624円から2544円に、セルフ営業日はドリンクバー付きで3948円から2868円に引き下げました」（小島支配人）

従業員がゴルフに励む様子がたびたびフェイスブックページやインスタグラムにアップされているのが、船橋カントリー倶楽部（千葉県・18H・M）。毎週火、水、日曜日の夕方は、日土やボールマークを直すことを条件に従業員にコースを開放しており、数年前からは小倉義雄社長主催の社員コンペとメンバーとの懇親コンペも始めた。

従業員がゴルフに励む様子がたびたびフェイスブックページやインスタグラムにアップされているのが、船橋カントリー倶楽部（千葉県・18H・M）。毎週火、水、日曜日の夕方は、日土やボールマークを直すことを条件に従業員にコースを開放しており、数年前からは小倉義雄社長主催の社員コンペとメンバーとの懇親コンペも始めた。

「コースの状況を把握するためにも、日頃から従業員がゴルフをすること

シブル戦を実施したが、従業員の参加率はそれぞれ8~9割になるという。

「初心者の参加意識を高めるため、9Hで1人2回はティショットを採用する」など、ルールを設けています。自分のショットが採用されば嬉しいものですし、スコアマイクのためにどのショットを採用するか、チーム内で盛り上がっています。部署間の交流を深めることにも繋がっています」（石橋支配人）

業務の都合などで社内コンペに参加できない従業員がいたり、年中無休営業にしたことで社内コンペ自体を取り止めたゴルフ場もある。そうしたゴルフ場の参考になるのが、ゴルド札幌カントリークラブ（北海道・18H・M）の社内コンペ。約4年前から営業期間を通してのロングラントンコンペ「三桁会」を開催している。対象は、従業員同士のプレーでスコアカードを3枚以上提出した人で、ネットスコア（新ペリア）の平均で年間順位を決定している。

「コースの状況をよく知り、お客様に対応に活かしてもらうためにも、より多くの従業員に参加してもらおうという配慮からです。お客様に迷惑